



新年、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいいたします。

昨年12月中旬には、強い寒気でこの辺も初雪となり、西の山、園庭、茶畑など、あたり一面真っ白な雪景色でした。そんな中、子ども達は園庭で雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと冬の自然をまるごと受け止め、どの子も大はしゃぎでした。

これから益々寒さも厳しくなるとは思いますが、体調面には十分気を付け元気に過ごしていきたいと思ひます。

さて、年中（4歳児）ですが、昨年から運動遊びに取り組んでいます。今の時代、身体を動かして遊ぶ機会が減少しているため、いろいろな動きの獲得がどの年齢も弱いように思ひます。また、運動に対する意欲や気力の減弱、対人関係などコミュニケーションをうまく構築できないなど心身の発達にも影響があるように思ひます。

幼児期は、運動機能が急速に発達し、いろいろな動きを身につけやすい時期です。身体を動かす遊びには、いろいろな動きがあり、ある程度の時間の中で様々な動きを提示していくことによって結果としていろいろな動きを獲得することにつながります。楽しく、無理なく多様な動きを身につけることができるだけでなく、怪我の予防にもつながります。

心と身体の理想的な成長のバランスは、日頃の遊びがとっても大事です。年中さんが取り組む中でどの子も「身体を動かすのが好き」「やってみたい」とやる気のスイッチが入るような工夫、また一人ひとりが「できたー」「おもしろい」と自信を積み重ねる体験ができるようにしていきたいと思ひます。



2月13日（金）は、鈴鹿市文化会館けやきホールでお遊戯会を行います。お遊戯会に向けて、子ども達は歌や劇、ダンスと一生懸命に取り組んでいます。毎年、練習を見ていて思うのですが、子どもの力は無限です。先生達のダンスを見て、真似て自分のものにしていきます。先生達も必死です。私はこの必死さ、一生懸命さが大人にないといけないと思ひます。大人が必死になる姿をみて、子ども達も心が動いていくのだと思ひます。これは普段の生活もそうです。何をするにも一生懸命に、丁寧に・・・が大切です。お遊戯会当日まで楽しく、また一人ひとりが自己発揮できるように見守ってきたいと思ひます。